

平成28年度 学校評議委員会

第2回学校評議委員会

- 1 日時 平成28年2月13日(月) 15:20～16:30
- 2 場所 校長室
- 3 意見交換 ※学校評議委員→委員、本校職員→職員

(1) 学校評価アンケートについて

委員：設備が不十分だという結果が出ているが、何部か把握をしているか？

職員：記述ではソフトテニス部のコートについて書かれている。記述されていないが、陸上部の陸上トラックがない。サッカー部とラグビー部は、グラウンドを共有している点も他校と比べて不十分だと思われる。

委員：子供の悩みを解消できているという結果が出ているが、他校と比べてどうか？

職員：管内では不登校の生徒数は一番少ないと思われる。

職員：職員と生徒の関係が良好である。困ったときに相談しやすい先生がいる環境だと思われる。

職員：現時点で今年の皆勤は3年生110名をはじめとして、各学年とも8割近くが皆勤である。

職員：皆勤や資格試験など、目標を設定してそれに取り組む姿勢が身に付いている。

委員：PTA 活動についての項目で、「わからない」という意見が増えているが、参加したくても参加できない会員が多いためだと思う。

委員：授業アンケートで生徒自身の「予習と復習」と「質問する」項目が低く出ているが、どのように職員では解釈しているのか？

職員：授業の雰囲気は良好であるが、積極的に質問できる生徒は少ない。

職員：高校より前の段階から授業中に積極的に質問できていない生徒が多い。それが影響していると思われる。

職員：授業以外の時間での質問はある。

委員：質問しづらい授業をしているように思われるアンケート結果だったが、そうでないことがわかった。

職員：分析しやすいアンケート結果になるように、質問内容を見直す必要がある。

(2) 女子生徒について

委員：女子生徒の進路はどのようになっているか？

職員：近年は専門を生かせる企業に就職する女子生徒が増えている。また、目標を持ち入学する女子生徒が増えている。

職員：女子生徒の多くは、生徒会の役員や部活動での選手として活躍している。

委員：女子生徒の指導に対して、気を遣っているところは？

職員：女子集会(指導、ガイダンス)を設けている。

職員：特別に集会を設けなくとも、生徒会役員や部活動選手として活躍しているので、それぞれの所で接する機会や指導する機会が増えている。

職員：人数が少ないので、様子がおかしいときは気付きやすい。そのときは、先生方から声をかける環境ができている。

(3) その他

委員：一関夏祭り七夕飾りへは参加しているのか？

職員：生活文化同好会が参加している。

委員：区民として、本校の生徒は挨拶などをしてくれて、良い印象をもっている。

委員：昨年度のことだが官舎の職員が、訪問しても対応してくれないことがあった。
学校外でも教師として相応しい行動を期待する。

委員：出前授業をやってほしい。

委員：世間では PTA 活動に参加しない風潮があるので、そうならないよう気をつけてほしい。

委員：学校生活（芸術の授業、部活動）など、本校の楽しさが伝わるものをもっと積極的に PR しても良いのでは。

委員：音楽の授業の延長で、市内の合唱グループに参加して大きな舞台にでるのも良いのでは。

委員：音楽を楽しみながら授業を受けている。専門教科ならではの緊張感を、芸術の授業で和らげている効果があるように感じた。とても良いことだと思う。

※当日は、評議委員会の前に音楽の授業を委員の方々に観ていただいた。